

製品開発やデジタル化など、幅広い分野の挑戦を後押しします。

2次募集！
7/29(金)まで

長岡市イノベーション 加速化補助金

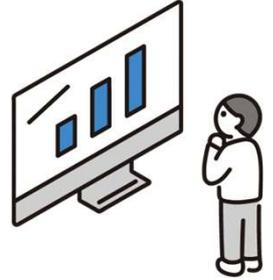
補助金額

対象経費の**3分の2以内**または**2分の1以内**※

限度額 **200万円**

※メニューごとに補助割合が異なります。

詳しくは
こちらから▼



募集期限

令和4年7月29日(金)

新製品の開発に取り組みたい。

技術高度化・新製品開発支援

- 対象者
市内に事業所を有する中小企業者等で製造業又は情報サービス業
- 補助金額
対象経費の1/2以内（限度額200万円）

過去の採択事例

- ▶医薬品製造用コンテナの乾燥機の開発
- ▶IoTスイッチ技術を用いた療育向けカメラアプリの開発
- ▶養鯉場に最適な高度水質維持装置の開発 など

デジタル化を推進したい。

デジタル技術活用支援

全業種

- 対象者
①市内に事業所を有する中小企業者等
②市内に介護施設を有する社会福祉法人又は医療法人
(長岡介護イノベーション・ハブで開発した製品の導入を行う事業)
- 補助金額
対象経費の1/2以内（限度額200万円）

過去の採択事例

- ▶在庫管理・品質管理システムの構築
- ▶オンラインによる受発注サービスの構築
- ▶顧客の好みに合わせたオリジナル商品のECサイトの開設 など

脱炭素化や、再エネ、省エネに関する製品開発をしたい。

再生可能エネルギー・省エネ推進支援

- 対象者
市内に事業所または本社を有する事業者
※製品開発、インフラ整備（機器入替等）は製造業のみ
- 補助金額
①中小企業者：対象経費の2/3以内（限度額200万円）
②中小企業者以外：対象経費の1/2以内（限度額200万円）

太陽光発電などの
脱炭素化は

全業種

過去の採択事例

- ▶工場への太陽光パネル設置（長岡地域・栃尾地域）
- ▶廃熱エネルギーの有効活用 など

バイオ製品・技術の開発、設備の導入をしたい。

バイオエコノミー推進支援

全業種

- 対象者
①市内に事業所または本社を有する事業者
②代表となる事業者が市内に事業所または本社を有するグループ
- 補助金額
対象経費の2/3以内（限度額200万円）

過去の採択事例

- ▶樹木チップによるミズ養殖及び肥料生産システムの開発事業
- ▶堆肥肥料可能な未利用間伐廃竹材の低価格切断粉碎開発事業
- ▶「越後 ど発酵」共同プロジェクト事業 など

採択事例の詳細は裏面へ

お問合せ

●技術高度化・新製品開発支援／デジタル技術活用支援 ⇒長岡市商工部産業支援課

TEL (0258) 39-2222 FAX (0258) 36-7385 E-mail shoko@city.nagaoka.lg.jp

●再生可能エネルギー・省エネ推進支援／バイオエコノミー推進支援 ⇒長岡市商工部産業イノベーション課

TEL (0258) 39-2402 FAX (0258) 36-7385 E-mail sangyou-seisaku@city.nagaoka.lg.jp

所在地 〒940-0062 長岡市大手通2-6 フェニックス大手イースト 長岡市役所大手通庁舎6階

高度技術化

養鯉場に最適な高度水質維持装置の開発

事業概要

(株)麟（悠久町）

錦鯉の養殖では、傷、魚病から守るために飼育数を減らし、良好な水質維持に努めている。そのため、現行型の水処理装置では飼育魚体数が限られ、養殖効率を高めることが困難である。

本事業では、良好な水質維持のため長岡技大他が持つ、浄化能力の高い濾過装置技術について共同で商品開発を行い、水浄化効率が高く、低コストの高度水質維持装置の開発を行った。



プロトタイプを作成し、効果を実証した

デジタル化

多品種・小ロット生産に対応した在庫・品質管理システム構築事業

事業概要

(株)長岡金型（西陵町）

取り扱う製品数・原材料種類の増加に伴い、在庫管理やロット管理業務への負荷が課題となり、本システムの構築・導入を決めた。

これまで、紙の日報で管理していたものをタブレット端末の入力に置き換え、データベースでの管理へ移行する。

在庫数がタイムリーに分かることで、製品の作り過ぎや不足を抑えられるとともに、製品ロットに紐づいた品質管理をデータベース上で行うことで、業務の効率化が期待できる。



製品情報をシステムに入力する様子

脱炭素化
再エネ・省エネ

SDGs 環境に配慮したCO2削減の為に太陽光パネル設置事業

事業概要

(株)丸菱電子（鉄工町）

SDGsに賛同し、徹底した省エネに取り組んできたが、これをさらに推進するため、再エネ導入を決意。

本社工場、第二工場にあわせて216枚の太陽光パネルを設置し、サプライヤーとしての企業価値を高めることができた。

実際の発電は導入前のシミュレーションとほぼ同等の発電をしており、雪国・長岡においても太陽光パネル設置のメリットがあることを積極的にPRしていきたいとしている。



バイオ
エコノミー

「越後ど発酵」共同プロジェクト事業

事業概要

(株)プラントフォーム、柏露酒造（株）
(有)たちばな、新潟県醤油協業組合

「新潟県の食品事業会社から発生する食品ロス1万トンゼロにする。」を目的に新潟県内の食品ロス（廃棄食材）を使い、発酵の力で高付加価値ブランド商品を開発する事業。

食品ロスであった柏露酒造の酒粕、プラントフォームの規格外野菜を活用し、「越後ど発酵」ブランド、2商品【古志漬けの素（漬物の素：発酵調味料）・古志漬け（無農薬レタス）】を開発、さらに県内の小売店や飲食店での販売を開始した。



開発された商品は現在販売中である